USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

Optoma

X304M

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

目次

使用上の注意 2
安全情報 2
クラス B 電波放射規制 2
重要な安全上の指示 2
注意 4
目の安全に関する警告 6
はじめに 7
製品の特長 7
同梱品の説明 8
製品概要 9
本体 9
コントロールパネル 10
背面図 11
リモートコントロール 12
インストール 13
プロジェクタの接続 13
コンピュータ / ノートブックへの接続 13
ビデオソースへの接続 14
プロジェクタの電源オン/オフ 15
プロジェクタの電源をオンにするには 15
プロジェクタの電源をオフにするには 16
警告インジケータ 16
投影画像の調整 17
プロジェクタの高さを調整するには 17
ズーム / フォーカスの調整 18
ユーザコントロール 19
コントロールパネル 19
リモートコントロール 20
オンスクリーンディスプレイメニュー 22
操作方法 22
メニューツリー 23
イメージ 24
ディスプレー 30
設定 34
オプション 42
付録 49
トラブルシューティング 49
画像の問題 49
中断の問題 51
プロジェクタ状態表示 52
リモートコントロールの問題 53
音声の問題 53
ランプの交換 54
プロジェクタのお手入れ 55
互換モード 56
天井取付 59
Optoma 社 お問い合わせ先 60
規制及び安全に関する情報 62
操作条件 63

安全情報

	稲妻のような矢印がある正三角形のマークは、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」があるため、感電の危険があることをユーザに警告するためのものです。
	正三角形に感嘆符があるマークは、本装置の説明書に記載されている操作と保守（修理）に関する重要な指示に注意を喚起するものです。

警告：火災や感電の危険を回避するため、プロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。筐体内には危険な高電圧が存在します。筐体を開けないでください。

修理は資格のある技術者に依頼してください。

クラス B 電波放射規制

このクラス B デジタル装置は、カナダの電波干渉発生装置に関する規制をすべて満たしています。

重要な安全上の指示

1. このプロジェクタを使用する前に、この説明書をお読みください。
2. この説明書を今後の参照用に保管してください。
3. すべての指示に従ってください。
4. 製造元の指示に従って設置してください：
   A. **通気口をふさがないでください。**プロジェクタの確実な動作を保証し、過熱からプロジェクタを守るため、適切な通気を妨げない位置と場所にプロジェクタを置いてください。例えば、通気口をふさぐ可能性があるベッドやソファ、カーペット、その他類似の表面上にプロジェクタをを配置しないでください。本棚や戸棚など、通気口からの気流を妨げる可能性がある閉ざされた空間にプロジェクタを置かないでください。
   B. **水や湿気の近くでこのプロジェクタを使用しないでください。**火災や感電の危険を回避するため、プロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。
   C. 放熱器やヒーター、ストーブ、その他熱を発生する装置（増幅器を含む）などの**熱源の近くに設置しないでください。**
5. 乾いた布のみで掃除してください。
6. 製造元の指定する同梱品または付属品のみを使用してください。

7. 修理はすべて資格のある技術者に依頼してください。プロジェクタに次のような破損が生じた場合、修理が必要です：

   - ❒ 電源コードまたはプラグが破損した。
   - ❒ 装置の中に液体をこぼした、または物品を落とした。
   - ❒ プロジェクタが雨または湿気に曝され、通常通りに動作しない、またはプロジェクタが落下した。

   このプロジェクタを自分で修理しようとしないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険な電圧やその他危険に曝される場合があります。お近くの認定サービスセンターをご案内しますので、オプトマにご連絡ください。

8. 危険な電圧ポイントに触れたり、部品の短絡を発生して火災や感電を引き起こすことがあるため、プロジェクタに物品や液体が入らないようにしてください。

9. プロジェクタの筐体で安全関連の表示をご確認ください。

10. 資格のあるサービス技術者を除き、プロジェクタの調整または修理を行わないでください。

注意



本ユーザガイドで推奨されるすべての警告、注意、保守に従ってください。

- 警告 - ランプがオンのときプロジェクタのレンズを覗き込まないでください。明るい光が目に傷害を与える場合があります。
- 警告 - 火災や感電の危険を回避するため、このプロジェクタを雨や湿気に曝さないでください。
- 警告 - 感電の危険があるため、プロジェクタを開けたり、分解したりしないでください。
- 警告 - ランプを交換するときは、ユニットが冷却された後、交換方法に従って行ってください。54ページを参照してください。
- 警告 - このプロジェクタはランプの寿命を検出します。警告メッセージが表示されたらランプを交換してください。
- 警告 - ランプモジュールの交換後、オンスクリーンディスプレイの「オプション | ランプ設定」メニューから「ランプリセット」機能を使用してください (48 ページ参照)。
- 警告 - プロジェクタをオフにするとき、電源を抜く前に冷却サイクルが完了したことを確認してください。プロジェクタの冷却には90秒かかります。
- 警告 - プロジェクタの動作中はレンズキャップを使用しないでください。
- 警告 - ランプが寿命に近付くと、画面上に「ランプの使用時間がランプの寿命に近付いています」というメッセージが表示されます。ランプの交換のため、お近くの販売店またはサービスセンターにできるだけ早くご連絡ください。
- 警告 - 目に傷害を与える危険があるため、リモートコントロールのレーザービームを直接覗き込まないでください。またレーザービームを他者の目に当てないでください。このリモートコントロールは放射線を放出するクラスIIレーザーを装備しています。



- ランプが寿命に達すると、プロジェクタはランプモジュールを交換するまでオンにすることができません。
ランプの交換は、54 ページの「ランプの交換」セクションに記載された手順に従ってください。

使用上の注意

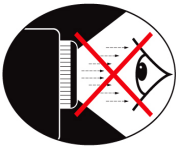
すべきこと:

- お手入れの前に製品の電源を切ってください。
- 中性洗剤で湿らせた柔らかい布でディスプレイのハウジングを拭いてください。
- 長期間製品を使用しないときは、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。

すべきでないこと:

- ユニットの通気スロット及び開口部を塞がないでください。
- 研磨クリーナーやワックス、シンナーを使用してユニットのお手入れを行わないでください。
- 次の条件下では使用しないでください:
  - 極端に暑い、寒い、湿度の高い環境。環境室温が 5～40°、相対湿度 10～85% (最高)、結露のない環境を確保してください。
  - ゴミや埃の多い場所。
  - 強い磁場を形成する機器の付近。
  - 直射日光下。

目の安全に関する警告



- プロジェクタの光線を直接覗き込むことは常に避けてください。
- できる限り光線に面して立たないようにしてください。できるだけ背中を光線に向けるようにしてください。
- プレゼンターが光線に立ち入る必要性を回避するため、棒やレーザーポインタを使用することを推奨します。
- スクリーンから観客への視線の外にプロジェクタを配置してください。これによりプレゼンターが観客を見るときプロジェクタのランプを見なくて済みます。これを達成するため、プロジェクタを床や台上に配置するよりも天井取り付けにするのが最善です。
- 教室でプロジェクタを使用する場合、生徒がスクリーン上で何かを指し示すよう求められたとき、適切に生徒を監督してください。
- 必要なランプ電力を最小にするため、室内のブラインドを用い、環境の明るさを低減してください。

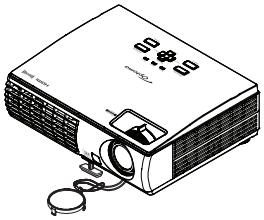
製品の特長

本製品はシングルチップ 0.55” XGA シリーズおよび 0.65” WXGA シリーズ DLP® プロジェクタです。卓越した次のような特長があります：

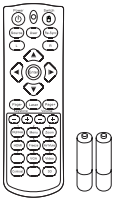
- テキサス・インスツルメンツのシングルチップ DLP® 技術
- コンピュータ互換性：
  アップルマッキントッシュ、iMac、VESA 規格：
  UXGA、SXGA+、SXGA、WXGA、WUXGA、XGA、SVGA、VGA
- ビデオ互換性：
  - NTSC、NTSC4.43
  - PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
  - SDTV および EDTV 対応
  - HDTV 対応（720p、1080i、1080p）
- ユーザ定義による設定が可能な自動ソース検出
- レーザーポインタとマウスコントロール付きの完全機能型 IR リモートコントロール
- ユーザフレンドリーな多言語オンスクリーンメニュー
- 先進的デジタルキーストーン補正と高品質の全画面画像再スケーリング
- ユーザフレンドリーなコントロールパネル
- 1 ワットアンプ装備内蔵スピーカー1台
- マッキントッシュと PC 対応
- HDMI 互換
- 完全 3D のサポート
- エコ AV 消音
- ワイヤレスドングルのサポート(VGAポート経由)

同梱品の説明

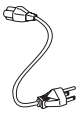
このプロジェクタには次のアイテムが同梱されています。お買い上げのユニットが完全であるか確認してください。不足がある場合、お買い上げ店にすぐにご連絡ください。



レンズカバー付プロジェクタ



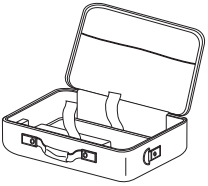
Rリモコン(レーザーポインタとバッテリ(単4 x 2)付き)



電源コード



VGA ケーブル



携帯用ケース

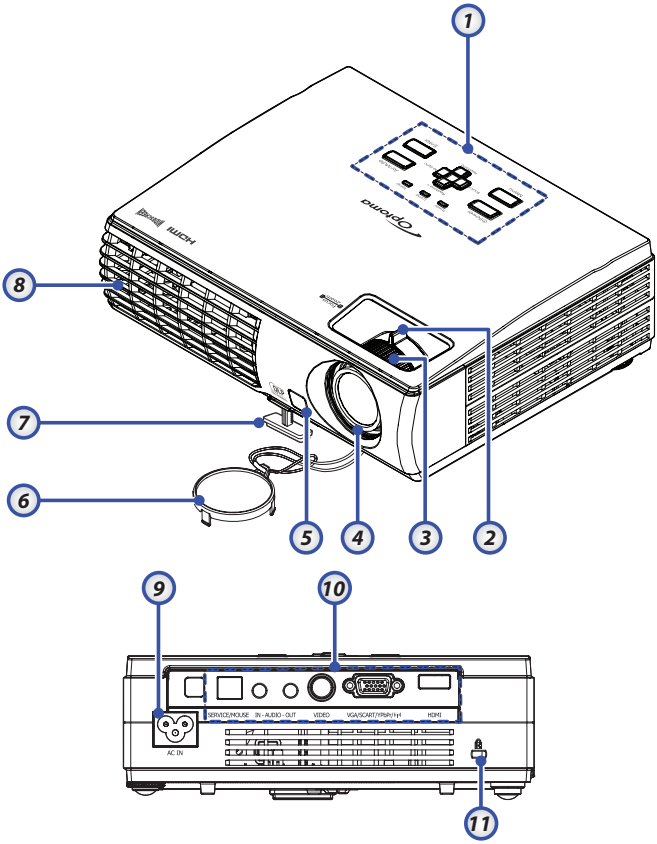
❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

文書:

- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ WEEEカード (EMEAのみ)
- ☑ Stop Card (米国のみ)

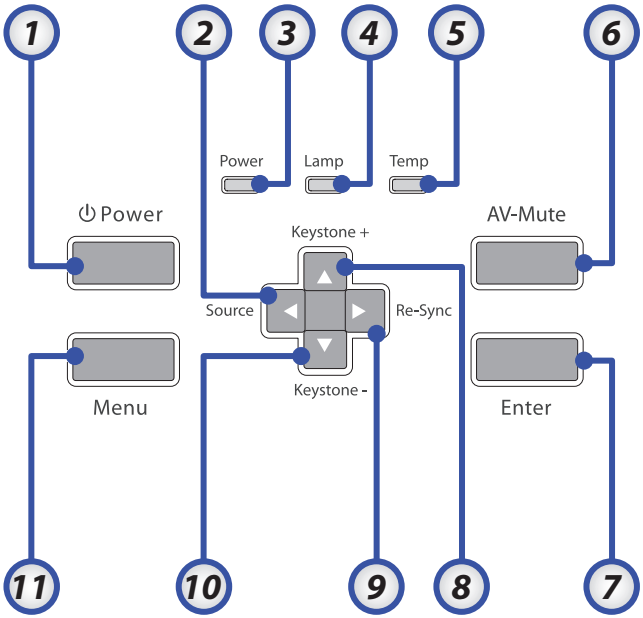
製品概要

本体



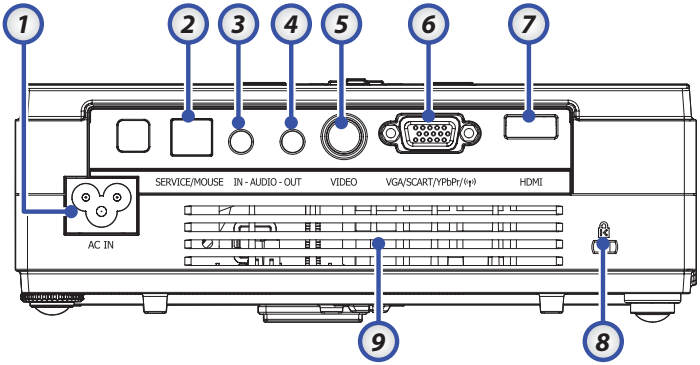
1. コントロールパネル
2. ズーム
3. フォーカス
4. レンズ
5. 前面 IR レシーバ
6. レンズカバー
7. 昇降脚部
8. 通気
9. 電源ソケット
10. 接続ポート
11. Kensington™ ロック

コントロールパネル



1. 電源
2. ◄/ソース（左矢印）
3. 電源 LED
4. ランプ LED
5. 温度 LED
6. AV-ミュート
7. Enter
8. ▲/キーストーン +（上矢印）
9. ►/再同期（右矢印）
10. ▼/キーストーン -（下矢印）
11. メニュー

背面図

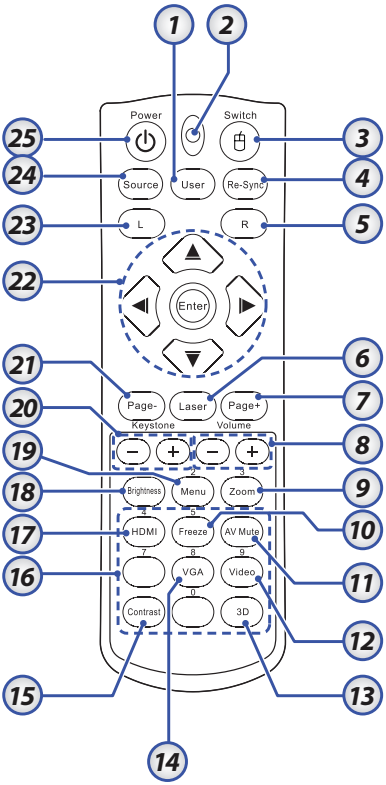


1. AC IN（電源）
2. SERVICE/MOUSE コネクタ
3. オーディオ入力コネクタ
4. オーディオ出力コネクタ
5. ビデオ入力コネクタ
6. VGA/SCART/YPbPr/(ᯤ)ワイヤレスドングル
7. HDMI コネクタ
8. Kensington™ ロックポート
9. 通気口

❖ ワイヤレスドングルはオプションのアクセサリーです。

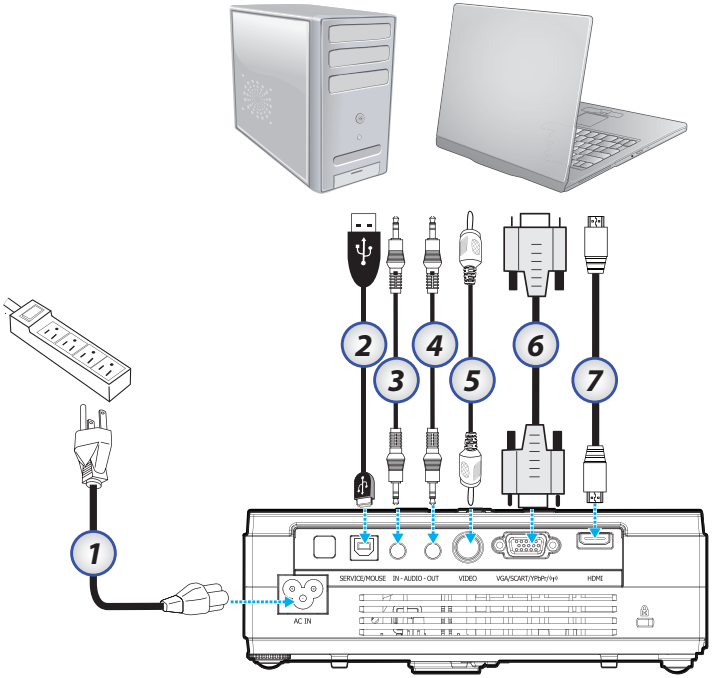
リモートコントロール

1. ユーザーボタン
2. ボタンLED
3. スイッチボタン
4. 再同期
5. マウスの右クリック
6. レーザーボタン
7. 前ページ
8. 音量 +/-
9. ズーム
10. フリーズ
11. AV消音
12. ビデオソース
13. 3Dボタン
14. VGAソース
15. コントラストボタン
16. 数字ボタン
17. HDMI
18. 輝度
19. メニュー
20. キーストン +/-
21. 次ページ
22. 4方向選択キー(スイッチボタンをクリックするときはPC/マウスコントロール)
23. マウスの左クリック
24. ソース
25. 電源オン/オフ



プロジェクタの接続

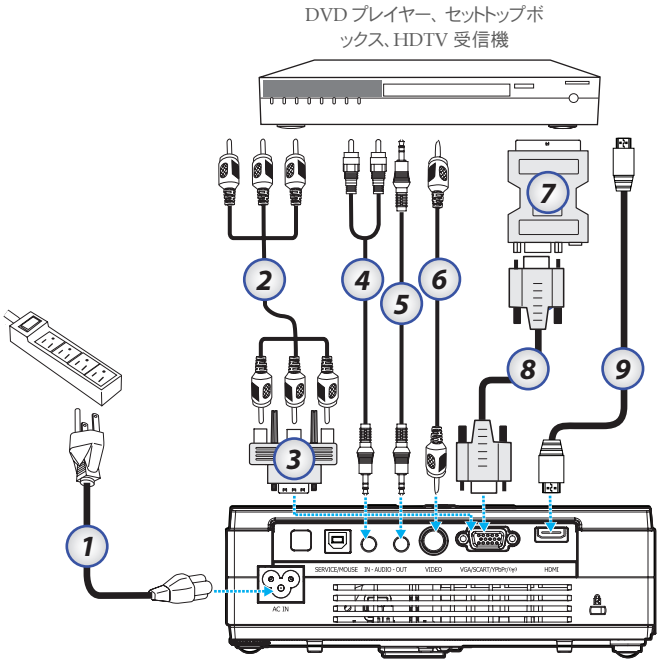
コンピュータ / ノートブックへの接続



❖ 各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

1. 電源コード
2. USB ケーブル
3. オーディオ入力 (ミニジャック)
4. オーディオアウト(ミニジャック)
5. ビデオケーブル
6. VGA ケーブル
7. HDMI ケーブル

ビデオソースへの接続



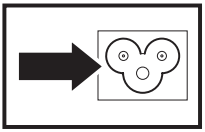
❖各国でのアプリケーションが異なるため、一部地域では異なる付属品がある場合があります。

1. 電源コード
2. コンポーネントケーブル（オプション）
3. RGB ~ コンポーネントアダプタ（オプション）
4. ステレオシステムケーブル（オプション）
5. ステレオシステムケーブル(オプション)
6. RCAビデオケーブル(オプション)
7. SCART対RGBおよびS-ビデオアダプタ(オプション)
8. VGAケーブル
9. HDMIケーブル(オプション)

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにするには

1. 電源コードをプロジェクタに接続します。
2. 接続されたデバイスの電源を入れます。



3. 電源 LED が点灯(点滅)していることを確認してから電源ボタンを押してプロジェクタの電源を入れます。

プロジェクタのスプラッシュスクリーンが表示され、接続されたデバイスが検出されます。接続されたデバイスが PC の場合、コンピュータのキーボード上で適切なキーを押してディスプレイ出力をプロジェクタに切り換えます。(お使いの PC のユーザマニュアルでディスプレイ出力を切り換えるための適切なFnキーを確認してください。)

セキュリティロックが有効になっている場合、39 ページの「アクセスパスワード(セキュリティーロック)の設定」を参照してください。

❖プロジェクタをオンにしてから信号ソースを選択します。

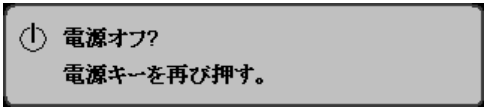


4. 1 つ以上の入力デバイスが接続されている場合、ソースボタンを繰り返し押すとそれらデバイス間での切り換えができます。
直接ソースを選択する操作については、21ページを参照してください。
(DVDとHDTVはVGAコネクタを介してサポートされます)



プロジェクタの電源をオフにするには

1. **電源**を押してプロジェクタランプをオフにすると、プロジェクタの画面にメッセージが表示されます。



2. **電源**を再度押して確定します。何もしないとこのメッセージは 15 秒後に消えます。
3. 冷却ファンが冷却サイクルのため約 10 秒間動作を続けます。

   （プロジェクタの電源を再度入れたい場合は、プロジェクタの冷却サイクルが完了し、スタンバイモードになるのを待ってからオンにします。スタンバイモードになった後、**電源**を押してプロジェクタを再起動します。）
4. 主電源スイッチをオフにしてください。電源コードをコンセントとプロジェクタから抜きます。
5. 電源オフ手順の後すぐにプロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

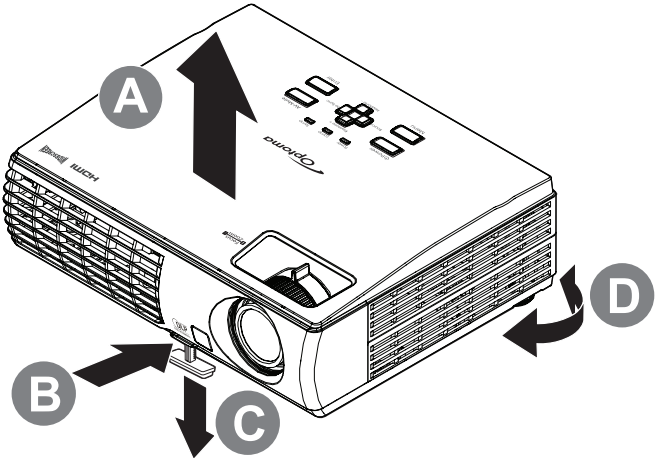
- 電源LEDインジケータが4回繰り返し点滅すると、プロジェクタは自動的に停止します。 最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。52ページを参照してください。
- 温度LEDが赤で(点滅ではなく)点灯しているとき、プロジェクタは自動的に停止します。通常の状態下では、プロジェクタの冷却後再度オンにすることができます。問題が持続する場合、お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。52 ページを参照してください。
- ランプLEDが赤で(点滅ではなく)点灯しているとき、ランプシステムが故障していることを示します。 最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。52 ページを参照してください。

投影画像の調整

プロジェクタの高さを調整するには

プロジェクタの設置時には次の点に注意してください。

- プロジェクタテーブルまたはスタンドは水平で頑丈である必要があります。
- スクリーンに対して垂直になるようにプロジェクタを配置します。
- ケーブルが安全な位置にあることを確認します。ケーブルにつまづくことがあります。



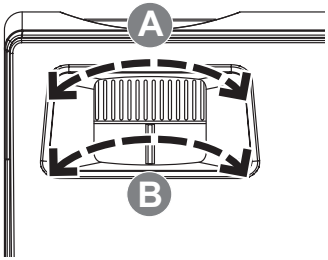
1. プロジェクタの高さを高くするには、プロジェクタ **[A]** を持ち上げ、高さアジャスタボタン **[B]** を押します。

   高さアジャスタが下がります **[C]**。

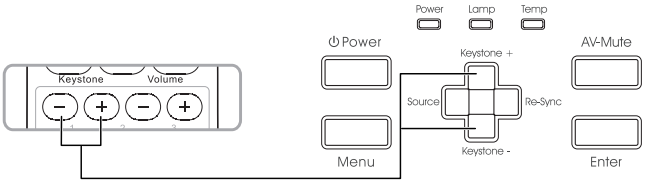
2. プロジェクタの高さを低くするには、高さアジャスタボタンを押してプロジェクタ上面を押します。
3. 画面の角度を調整するには、傾斜アジャスタ **[D]** を右または左に回し、必要な角度に調整します。

ズーム / フォーカスの調整

1. 画像ズームコントロール（プロジェクタ上のみ）を使い、投影された画像とスクリーンサイズを変更します **[B]**。
2. 画像フォーカスコントロール（プロジェクタ上のみ）を使い、投影された画像をシャープにします **[A]**。

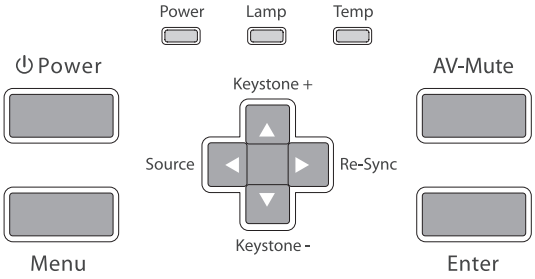


3. キーストーンボタンを使い、画像の歪みを補正します。ボタンはリモートコントロールとプロジェクタのコントロールパネルにあります。





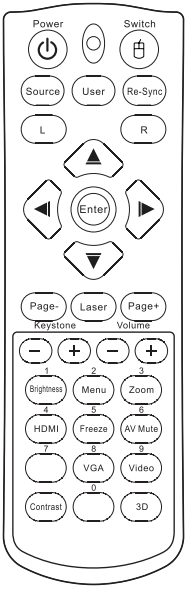
コントロールパネル



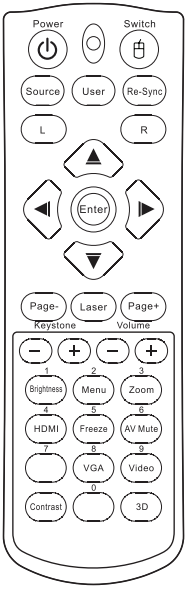
コントロールパネルの使用		
電源	15 ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」セクションを参照してください。	
メニュー	**メニュー**を押すとオンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューが開きます。OSD を終了するには再度**メニュー**を押します。	
▲/キーストーン +(上矢印)	•画像の台形歪みを正方向に補正します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
►/再同期(右矢印)	•プロジェクタを入力ソースと自動的に同期します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
▼/キーストーン -(下矢印)	•画像の台形歪みを負方向に補正します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
◄/ソース(左矢印)	•**ソース**を押して入力信号を選択します。 •OSDをナビゲートし、設定を変更します。	
AV-ミュート	一時的にオーディオとビデオをオフにします。	
Enter	項目選択を確定します。	
電源 LED	緑	装置はスタンバイまたは電源オン状態で、正しく作動しています。
	緑の点滅	装置は暖機運転/放熱/クイックレジューム中(100秒)です。
	オフ	ユニットの電源が入っていません。
ランプ LED	オン	ランプ準備中/**電源**ボタンを押さないでください。
	オフ	ランプが正常な状態にあります。
温度 LED	オン	システム過熱
	オフ	正常状態

❖ AV消音: AV消音が適用されているとき、ランプ電力の70%が節約できます

リモートコントロール



リモートコントロールの使用	
電源	15 ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」セクションを参照してください。
スイッチ	USB マウススイッチ。
ソース	**ソース**を押して入力信号を選択します。
ユーザー	モード設定を直接表示する
再同期	プロジェクタを入力ソースと自動的に同期します。
L ボタン	マウスの左クリックです。
R ボタン	マウスの右クリックです。
4 方向選択キー (マウス / マウスコントロール)	▲▼◀▶ を使って項目を選択するか、選択の調整を行います。 PC / マウスコントロールを使い、マウスの動作を制御することができます。USBケーブルを使ってお使いのコンピュータとプロジェクタを接続し、マウス機能を有効にします。
Enter	項目選択を確定します。
ページ -	このボタンを使い、次ページに移動します。
レーザー	リモートコントロールでスクリーンを指し、このボタンを長押しするとレーザーポインタが動作します。
ページ +	このボタンを使い、前ページに移動します。
キーストーン +/-	プロジェクタの傾きによる画像の歪みを調整します。(±30 度)
ボリューム +/-	音量の大きさを調整します。



リモートコントロールの使用

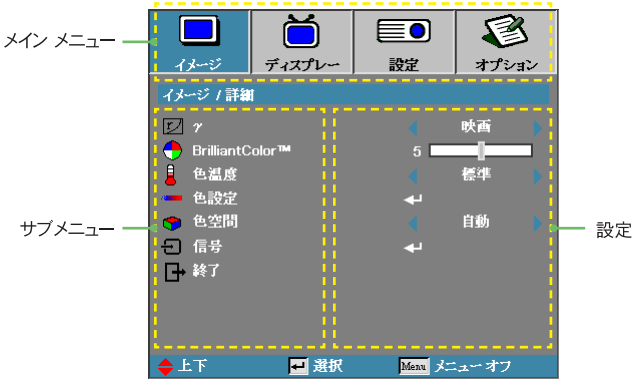
輝度	画像の明るさを調整します。
メニュー	**メニュー**を押すとオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューが開きます。OSDを終了するには再度**メニュー**を押します。
ズーム	**+/-** を押して画像にズームインします。
HDMI	**HDMI** を押して HDMI ソースを選択します。
一時停止	**一時停止**を押してスクリーンの画像を一時停止します。
AV ミュート	一時的にオーディオとビデオをオフにします。
VGA	**VGA** を押してVGA 入力コネクタからのソースを選択します。
ビデオ	**ビデオ**を押してコンポジットビデオソースを選択します。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。
3D	**3D**を押して3Dメニューのオン/オフを切り替えます。

オンスクリーンディスプレイメニュー

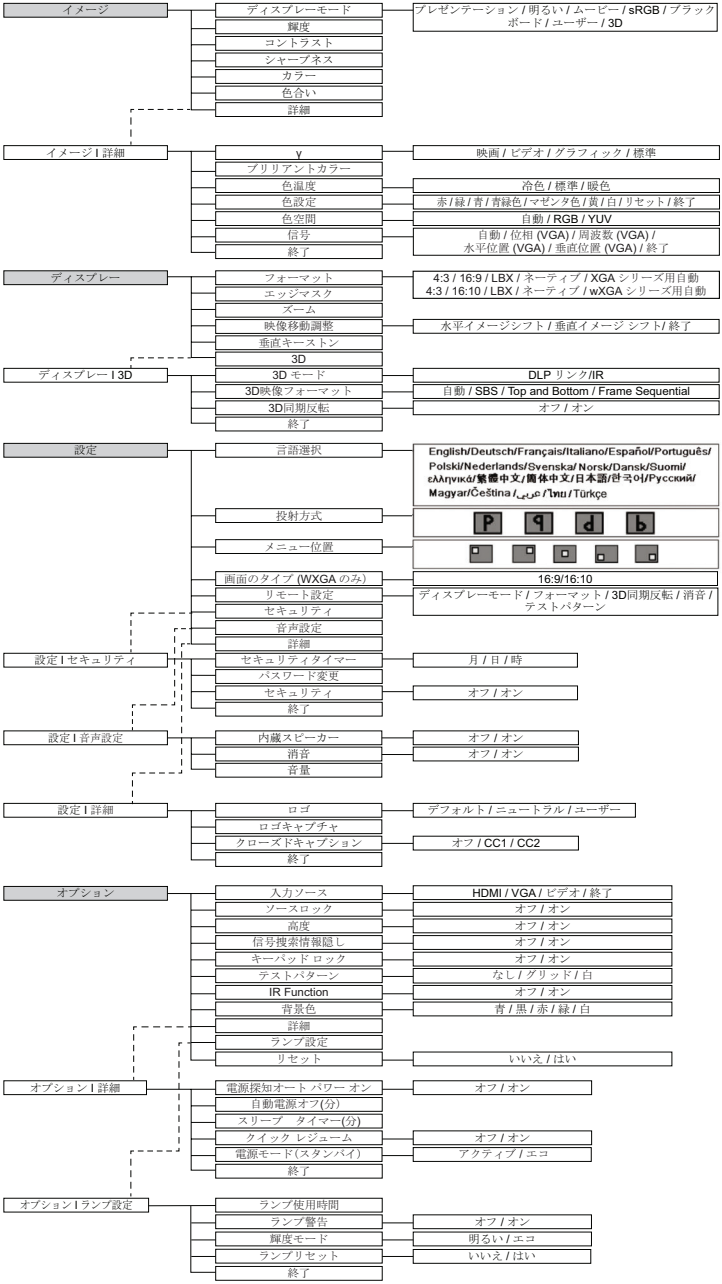
プロジェクタの多言語オンスクリーンディスプレイメニューで画像の調整とさまざまな設定変更を行うことができます。プロジェクタは自動的にソースを検出します。

操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモートコントロールまたはプロジェクタのキーパッドの**メニュー**を押します。
2. OSD が表示されたら、◀ ▶ キーを使ってメインメニューの項目を選択します。特定のページで選択を行うとき、▼ または **Enter** を押すとサブメニューに入ります。
3. ▲ ▼ キーを使い、お好みの項目を選択し、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューで次に調整する項目を選択し、上述のように調整を行います。
5. **Enter** を押して確定すると、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、再度**メニュー**を押します。OSD メニューが閉じてプロジェクタが新しい設定を自動的に保存します。



メニューツリー


イメージ
ディスプレーモード
プレゼンテーション / 明るい / ムービー / sRGB / ブラックボード / ユーザー / 3D
輝度
コントラスト
シャープネス
カラー
色合い
詳細
イメージ I 詳細
γ
映画 / ビデオ / グラフィック / 標準
ブリリアントカラー
色温度
冷色 / 標準 / 暖色
色設定
赤 / 緑 / 青 / 青緑色 / マゼンタ色 / 黄 / 白 / リセット / 終了
色空間
自動 / RGB / YUV
信号
自動 / 位相 (VGA) / 周波数 (VGA) / 水平位置 (VGA) / 垂直位置 (VGA) / 終了
終了
ディスプレー
フォーマット
4:3 / 16:9 / LBX / ネーティブ / XGA シリーズ用自動
4:3 / 16:10 / LBX / ネーティブ / wXGA シリーズ用自動
エッジマスク
ズーム
映像移動調整
水平イメージシフト / 垂直イメージ シフト/ 終了
垂直キーストン
3D
ディスプレー I 3D
3D モード
DLP リンク/IR
3D映像フォーマット
自動 / SBS / Top and Bottom / Frame Sequential
3D同期反転
オフ / オン
終了
設定
言語選択
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Português/Polski/Nederlands/Svenska/ Norsk/Dansk/Suomi/ελληνικά/繁體中文/簡体中文/日本語/한국어/Русский/Magyar/Čeština /عربي /ไทย /Türkçe
投射方式
メニュー位置
画面のタイプ (WXGA のみ)
16:9/16:10
リモート設定
ディスプレーモード / フォーマット / 3D同期反転 / 消音 / テストパターン
セキュリティ
音声設定
詳細
設定 I セキュリティ
セキュリティタイマー
月 / 日 / 時
パスワード変更
セキュリティ
オフ / オン
終了
設定 I 音声設定
内蔵スピーカー
オフ / オン
消音
オフ / オン
音量
設定 I 詳細
ロゴ
デフォルト / ニュートラル / ユーザー
ロゴキャプチャ
クローズドキャプション
オフ / CC1 / CC2
終了
オプション
入力ソース
HDMI / VGA / ビデオ / 終了
ソースロック
オフ / オン
高度
オフ / オン
信号捜索情報隠し
オフ / オン
キーパッド ロック
オフ / オン
テストパターン
なし / グリッド / 白
IR Function
オフ / オン
背景色
青 / 黒 / 赤 / 緑 / 白
詳細
ランプ設定
リセット
いいえ / はい
オプション I 詳細
電源探知オート パワー オン
オフ / オン
自動電源オフ(分)
スリープ　タイマー(分)
クイック レジューム
オフ / オン
電源モード(スタンバイ)
アクティブ / エコ
終了
オプション I ランプ設定
ランプ使用時間
ランプ警告
オフ / オン
輝度モード
明るい / エコ
ランプリセット
いいえ / はい
終了

イメージ



ディスプレーモード

さまざまな画像のタイプについて最適化されたたくさんの工場出荷初期設定があります。

- 表示：コンピュータ入力に適した色と明るさです。
- 明るい：コンピュータ入力の最大輝度です。
- 映画：ホームシアター向けです。
- sRGB：標準化された正確な色です。
- ブラックボード: ブラックボードに最適の色。
- ユーザー: ユーザー独自の設定。

デフォルト（工場出荷時）設定は、プレゼンテーションモードです。ユーザーで調節を行うと、新しい設定が保存され、次からはこの設定を利用できます。

- 3D: 3Dが有効になっている場合のユーザー調整可能設定。

輝度

画像の明るさを調整します。

- ◀ を押して画像を暗くします。
- ▶ を押して画像を明るくします。

コントラスト

コントラストは、画像の最も明るい場所と最も暗い場所の間の差の程度をコントロールします。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ を押してコントラストを上げます。
- ▶ を押してコントラストを下げます。

イメージ



シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押してシャープネスを下げます。
- ▶ を押してシャープネスを上げます。

カラー

ビデオ画像を白黒から完全な彩度の色までの間で調整します。

- ◀ を押すと画像の色の量が減少します。
- ▶ を押すと画像の色の量が増加します。

色合い

赤と緑の色バランスを調整します。

- ◀ を押して画像の緑の量を増します。
- ▶ を押して画像の赤の量を増します。

詳細

詳細目ユーに入ります。γ、Brilliant Color、色温度、色設定、色空間、信号、終了などの詳細表示オプションを選択します。詳しくは 26 ページをご覧ください。

イメージ | 詳細



γ

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたγテーブルを選択することができます。

- フィルム：ホームシアター向けです。
- ビデオ：ビデオまたは TV ソース向けです。
- グラフィックス：画像ソース向けです。
- 標準：PC またはコンピュータ ソース用。

Brilliant Color

この調整可能アイテムは、新しい色処理アルゴリズムとシステムレベル機能を利用し、画像にリアルでより鮮やかな色を提供すると同時に、明るさをより高めることができます。範囲は **0** から **10** です。強い画像をお好みの場合、最大設定に向けて調整します。よりスムースで自然な画像にするには最小設定に向けて調整します。

色温度

色温度を調整します。冷色は画面をより冷たく見せ、暖色は画面をより温かく見せます。

色設定

色彩設定メニューに入ります。詳細は 27 ページを参照してください。

色空間

AUTO、RGB、YUV から適切なカラーマトリクスタイプを選択します。

イメージ | 詳細 | 色設定



色(白を除く)

▲▼を押して色を選択し、Enterを押して色合い、彩度、ゲイン設定を調整します。



▲▼を押して色合い、彩度、またはゲインを選択し、◀▶を押して設定を調整します。

イメージ | 詳細 | 色設定



白

▲▼を押して白を選択し、Enterを押します。



▲▼を押して赤、緑、または青を選択し、◄►を押して設定を調整します。

リセット

すべての色設定値を工場出荷時設定にリセットします。

イメージ | 詳細 | 信号



自動

自動をオンまたはオフに設定すると、位相と周波数機能がロックまたはロックが解除されます。

- オフ – 自動ロックを無効にします。
- オン – 自動ロックを有効にします。

周波数

表示データ周波数をお使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせて変更します。縦線がちらつく場合は、この機能を使って調整します。

位相

位相ではディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードと同期します。画像が不安定またはちらつく場合は、この機能を使って補正します。

水平位置

- ◀ を押して画像を左に移動します。
- ▶ を押して画像を右に移動します。

垂直位置

- ◀ を押して画像を下に移動します。
- ▶ を押して画像を上に移動します。

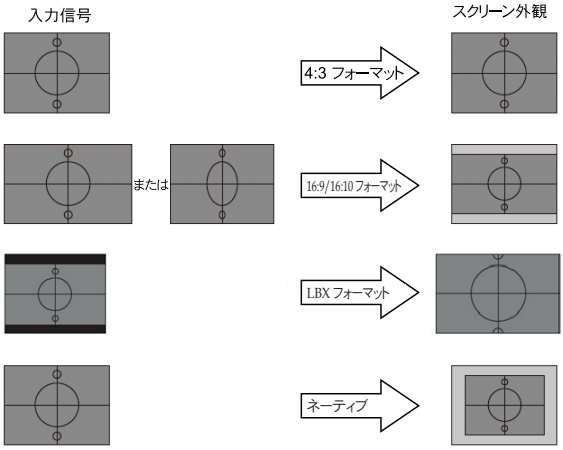
ディスプレー



フォーマット

この機能を用い、お好みのアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは 4x3 入力ソース用で、ワイド画面 TV 向けではありません。
- 16:9 (XGA シリーズ) / 16:10 (WXGA シリーズ): このフォーマットは HDTV や DVD など 16x9 入力ソース用で、ワイド画面向けです。
- レターボックス: 16x9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部16x9レンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- ネガフィルム:入力ソースの解像度によります。スケーリングは実行されません。
- 自動:適切なフォーマットを自動的に選択します。



LBXモードに関する詳細情報:

1. 一部のレターボックスDVDには、16x9 TVのために用意されていないものもあります。この場合、16:9モードのイメージは正しく表示されません。

   この場合、4:3モードを使ってDVDを表示してみてください。

   コンテンツが4:3ではない場合、16:9ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBXモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます。
2. 外部のアナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードにより画面の上と下に黒いバーを表示せずに2.35:1コンテンツを鑑賞することができます。こうすることで、ランプの消費電力と解像度が完全に利用できます。

ディスプレー



エッジマスク

エッジマスク機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをエッジマスクしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

ズーム

- ◀ を押して画像のサイズを小さくします。
- ▶ を押して投写スクリーン上の画像を大きくします。

映像移動調整



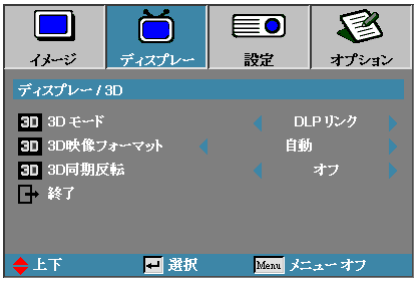
投射された画像位置を移動します。

- ▲▼を押して、水平または垂直移動を選択します。
- ◀▶を押して設定を調整します。

垂直キーストン

プロジェクタがスクリーンに対し傾斜して配置されているとき、◀ または ▶ を使って垂直方向の画像の歪みを補正します。

ディスプレー | 3D



- IRオプションはモデルによって異なることがあります。
- 3D同期は3Dが有効になっているときのみ使用可能で、このモードは3DはDLPリンクガラス専用です。

3D モード

- DLPリンク: DLPリンクを選択してDLPリンク3D眼鏡の最適化された設定を使用します。
- IR: IRベースの3D画像用に最適化された設定を使用するには、IRを選択します。

3D 映像フォーマット

- 自動:3D識別信号が検出されるとき、3D映像フォーマットが自動的に選択されます。
- Side By Side: サイドバイサイドフォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom: 最上部から底部までフォーマットで3D信号を表示します。
- Frame Sequential: Frame Sequentialフォーマットで3D信号を表示します。

3D 同期反転

- オフ – デフォルトのフレームコンテンツ用。
- オン – 左右のフレームコンテンツを反転します。

設定



言語

言語メニューに入ります。多言語 OSD メニューを選択します。詳しくは 36 ページを参照してください。

投射方式

投射法を選択します：

- P フロントデスクトップ
  工場出荷時の設定です。
- q リアデスクトップ
  この機能を選択すると、透過スクリーンの後方で投射できるようプロジェクタが画像を反転させます。
- d フロント天井
  この機能を選択すると、天井取付投射向けにプロジェクタが画像を上下逆さにします。
- b リア天井
  この機能を選択すると、プロジェクタが画像を反転させ、且つ上下逆さにします。天井取付投射で透過スクリーンの後方から投射することができます。

メニュー位置

表示画面上でメニューの位置を選択します。

設定



画面のタイプ

◀▶ を押してアスペクト比を 16:9 または 16:10 に設定します。この機能は WXGA のみをサポートします。

リモート設定

◀▶を押して、IRでユーザーキーアクティブ機能を設定します。

セキュリティ

セキュリティメニューに入ります。プロジェクタのセキュリティ機能にアクセスします。
詳しくは 37 ページを参照してください。

音声設定

音声設定メニューに入ります。
詳しくは 40 ページをご覧ください。

詳細

アドバンスメニューに入ります。起動中のスクリーンディスプレイを選択します。詳しくは 41 ページを参照してください。

❖ セキュリティタイマーまたはセキュリティ設定が有効になっていない限り、セットアップ | セキュリティにアクセスするためにパスワードは必要ありません。

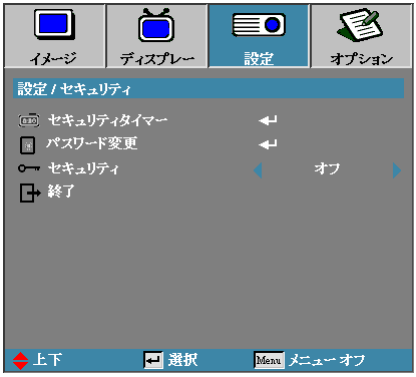
設定 | 言語



言語選択

多言語 OSD メニューを選択します。**ENTER** を押してサブメニューに入り、左 (◀) または右 (▶) キーを押してお好みの言語を選択します。

設定 | セキュリティ



セキュリティタイマー

セキュリティタイマーサブメニューに入ります。



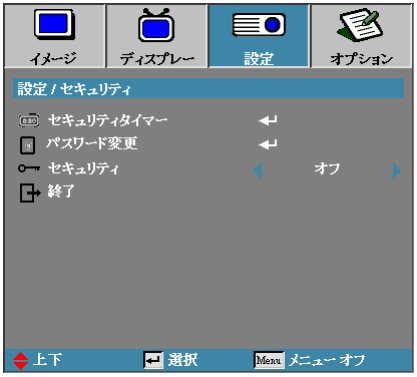
パスワードを入力せずにプロジェクタを使用できる期間を月、日、時間で入力します。セットアップメニューへ戻るとセキュリティタイマーが有効になります。

有効にされると、プロジェクタは指定された日付及び時間に電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際してパスワードを要求します。

プロジェクタが使用中でセキュリティタイマーが有効になっている場合、パスワードを要求する前に次の画面が 60 秒間表示されます。



設定 | セキュリティ



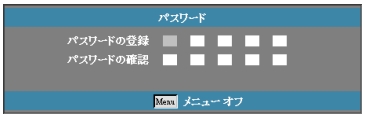
パスワード変更

このサブメニューを使ってプロジェクタのセキュリティパスワードを変更します。

1. セキュリティサブメニューからパスワード変更を選択します。パスワード変更確認ダイアログボックスが表示されます。
2. **はい**を選択します。



3. デフォルトのパスワード <1> <2> <3> <4> <5>を入力します。
   二つ目のパスワード画面が表示されます。

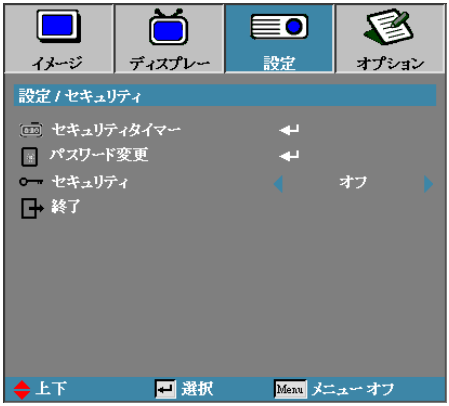


4. 新しいパスワードを確認のため 2 回入力します。

❖ 誤ったパスワードが3回入力されると、10秒後にプロジェクタが自動的にシャットダウンされます。

❖ 新しいパスワードがマッチしない場合、パスワード画面が再度表示されます。

設定 | セキュリティ



セキュリティタイマー

セキュリティパスワードを有効または無効にします。

- オン：プロジェクタの電源投入とセキュリティメニューへのアクセスに際して現在のパスワードが要求されます。
- オフ：一切の機能にパスワードは要求されません。

セキュリティが有効になっていると、起動時とセキュリティメニューへのアクセスが許可される前に次の画面が表示されます：



設定 | 音声設定



内蔵スピーカー

- オフ – 内蔵スピーカーをオフにします。
- オン – 内蔵スピーカーをオンにします。

消音

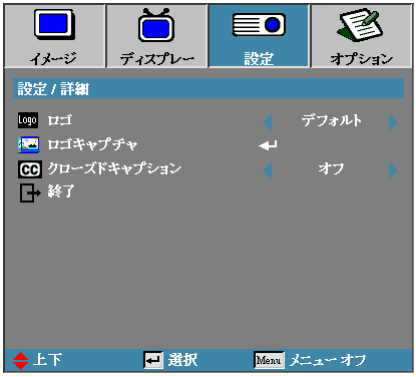
音声オンとオフを切り替えます。

- オフ：スピーカーの音量がオンになります。
- オン：スピーカーの音量がオフになります。

音量

- ◀ を押します音声の音量を小さくするには 。
- ▶ を押します音声の音量を大きくするには 。

設定 | 詳細



ロゴ

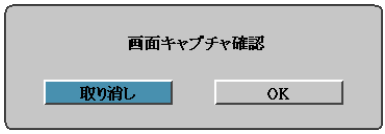
起動時に表示する画面を選択します。

- オプトマ：工場出荷時に設定された起動画面です。
- デフォルト – 付属のデフォルトの起動画面。
- ニュートラル – はバックグラウンドの色です。

ロゴキャプチャ

起動画面として使用するため表示された画面をキャプチャします。

1. プロジェクタにお好みの画面を表示します。
2. アドバンスメニューからロゴキャプチャを選択します。
   確認画面が表示されます。



3. **OK**を選択します。画面キャプチャが進行中になります。
   画面キャプチャ成功が表示されます。キャプチャされた画面が **User** としてロゴメニューに保存されます。

❖ スタートアップ画面は一度に一つだけ保存できます。続いてキャプチャすると 3.5MB に制限された前のファイルが上書きされます。

クローズドキャプション

クローズドキャプションを表示するスクリーンを選択します。

- オフ：デフォルト設定です。
- CC1、CC2 – クローズドキャプション画面を選択します。

オプション



❖ いずれかのソースを選択しないと、プロジェクタは画像を一切表示できません。少なくとも1つのソースを常に選択してください。

入力ソース

入力ソースメニューに入ります。

詳しくは 45 ページをご覧ください。

ソースロック

現在のソースをケーブルが抜かれていたとしても唯一利用可能なソースとしてロックします。

- オン：現在のソースだけが入力ソースとして認識されます。
- オフ：イメージ | アドバンス | 入力ソースで選択されたすべてのソースが入力ソースとして認識されます。

高度

環境に合わせてファン速度を調整します。

- オン：高温、高湿、または高海抜の環境向けにファン速度を速くします。
- オフ：一般的環境向けの通常のファン速度です。

信号捜索情報隠し

画面上の情報メッセージを隠します。

- オン：操作中画面に状態メッセージが表示されません。
- オフ：操作中画面上にノーマルと状態メッセージが表示されます。

オプション



キーパッドロック

ディスプレイの左上で、メッセージは「信号捜索情報隠し」を無効にする必要があります。

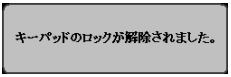
キーパッドを押すたびに、キーパッドロゴディスプレイが10秒間表示されます。

キーパッドロックOSD。ディスプレイの左上に:



次の方法に従うことで、キーパッドのロックを解除できます。

1. 7秒間キーパッドのEnterを押し続けると、キーパッドのロックが解除されます。
2. リモコンを使用してOSDにアクセスし、「オフ」に設定します。



ディスプレイの左上で、メッセージは「信号捜索情報隠し」を無効にする必要があります。

テストパターン

テストパターンを表示します。格子、ホワイト、なしがあります。

オプション



詳細

アドバンスメニューに入ります。詳細は 46 ページを参照してください。

ランプ設定

ランプ設定メニューに入ります。詳細は 48 ページを参照してください。

リセット

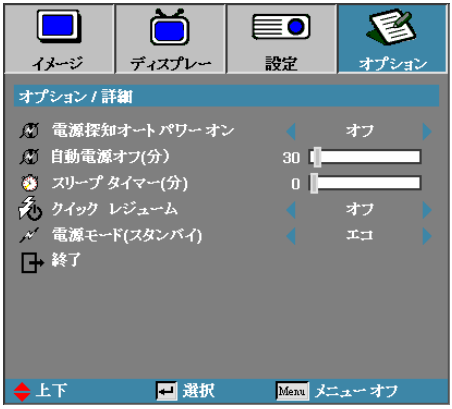
すべてのオプションを工場出荷時の設定にリセットします。

オプション | 入力ソース



入力ソースを有効/無効にする際に使用します。**Enter**を押して、サブ　メニューに入り、必要なソースを選択します。**Enter**を押すと選択が確定されます。プロジェクタは、非選択状態の入力を検索しません。

オプション | 詳細



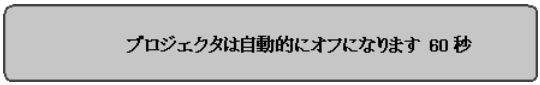
電源探知オートパワーオン

直接電源オンを有効または無効にします。

- オン：AC 電源が供給されるとプロジェクタの電源が自動的に投入されます。
- オフ：プロジェクタの電源を通常通りに入れる必要があります。

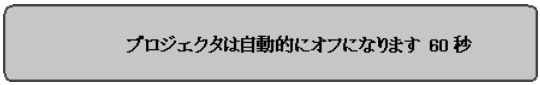
自動電源オフ

オートパワーオフの間隔を設定します。プロジェクタはデフォルトで信号が 30 分間ないと自動的にランプの電源を切ります。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。

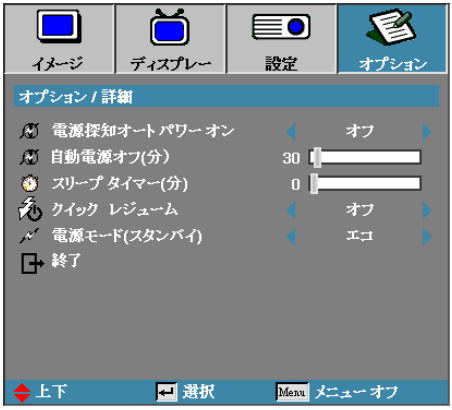


スリープタイマー

スリープタイマー間隔を設定します。指定された時間活動がないと（信号に関係なく）、プロジェクタの電源が切れます。電源オフになる前に警告が 60 秒間表示されます。



オプション | 詳細



クイックレジューム

クイックレジュームがオンになっている場合、プロジェクタがオフになってから100秒以内にオンに戻ると、プロジェクタは直ちに操作を再開します。

電源モード(スタンバイ)

スタンバイ電源モードステータスに設定します(0.5w以上または0.5w以下に)。

- エコ - エコを選択すると、節電モードになります(<0.5W)。
- アクティブ - アクティブを選択すると、通常のスタンバイになり、VGA出力ポートが有効になります。

オプション | ランプ設定



ランプ使用時間

ランプがそれまでに動作した時間数を表示します。この項目は表示機能のみです。

ランプ警告

ランプ寿命警告を有効または無効にします。

- オン:ランプの残り寿命が 30 時間未満になると警告メッセージが表示されます。



- オフ:警告メッセージが表示されません。

輝度モード

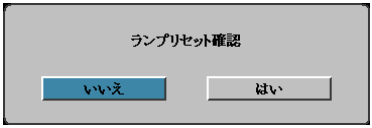
ランプのブライトモードを選択します。

- ブライ:トデフォルト設定です。
- エコ:ランプの寿命を延ばすため低い輝度設定にします。

ランプリセット

ランプを交換した後、ランプカウンターをリセットして新しいランプの寿命を正しく反映させます。

1. ランプリセットを選択します。
   確認画面が表示されます。



2. **はい**を選択してランプカウンターをゼロにリセットします。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合、次の情報を参考にしてください。問題が解決しない場合は地域の販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が表示されない

- **インストール**セクションで説明されている通りにすべてのケーブルと電源接続が正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- コネクタのピンが曲がっていたり、破損したりしていないか確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているか確認します。**ランプ交換**セクションを参照してください。
- レンズキャップを外し、プロジェクタの電源が投入されていることを確認します。

部分的、スクローリング、正しくない画像が表示される

- リモートコントロールの「**再同期**」を押します。
- PCを使用している場合：

  Windows 95、98、2000、XP向け：

  1. **マイコンピュータ**アイコンから**コントロールパネル**フォルダを開いて、**画面**アイコンをダブルクリックします。
  2. **設定**タブを選択します。
  3. お使いのディスプレイ解像度の設定が UXGA（1600 x 1200）以下であることを確認します。
  4. **詳細設定**ボタンをクリックします。
  5. プロジェクタが画像全体を表示しない場合、お使いのモニタディスプレイを変更する必要があります。次の手順に従ってください：
  6. ディスプレイ解像度の設定が UXGA（1600 x 1200）以下であることを確認します。
  7. **モニタ**タブの**変更**ボタンを選択します。
  8. **すべてのデバイスを表示する**をクリックします。続いて、SP 枠で**標準モニタ種類**を選択し、「モデル」枠で必要な解像度モードを選択します。
  9. モニタディスプレイの解像度設定が UXGA（1600 x 1200）以下であることを確認します。(*)

- ノートブックをご使用の場合：
  1. まず上記の手順に従い、コンピュータの解像度を調整します。
  2. 出力設定切り換えを押します。例：[Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル：
システム環境設定 ⇨ ディスプレイ ⇨ 構成 ⇨ ミラーディスプレイ

解像度の変更が困難な場合、またはモニタがフリーズする場合は、プロジェクタを含むすべての装置を再起動してください。

ノートブックまたは PowerBook コンピュータの画面がプレゼンテーションを表示しない

- ノートブックをご使用の場合：

  一部のノートブックは 2 つ目のディスプレイ装置が使用中のとき、ノートブックの画面を動作しない状態にする場合があります。再動作させる方法はそれぞれ異なります。詳しくはお使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。

画像が不安定、またはちらつく

- **位相**を使って補正します。詳しくは 29 ページを参照してください。
- お使いのコンピュータのモニタ色彩設定を変更します。

画像に縦線がちらつく

- **周波数**を使って調整します。詳しくは 29 ページを参照してください。
- お使いのグラフィックカードのディスプレイモードを確認・設定してプロジェクタに合うようにします。

画像の焦点が合っていない

- レンズキャップが外されていることを確認します。
- プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。
- プロジェクタから必要な距離の間に投写スクリーンがあることを確認します。詳しくは 17-18 ページを参照してください。

16:9 DVD 作品を表示するとき画像が伸びる

スクイーズ方式の DVD または 16:9 DVD を再生する場合、プロジェクタ側を OSD で 16:9 フォーマットにするとプロジェクタは最高の画像を表示します。4:3 フォーマットの DVD 作品を再生する場合は、プロジェクタ OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。画像がまだ伸びる場合は、次を参照してアスペクト比を調整する必要があります:

- DVD プレイヤーのディスプレイフォーマットを 16:9 (ワイド) アスペクト比タイプに設定してください。

画像が小さすぎる、または大きすぎる

- プロジェクタ上部のズームリングを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近づけるか、遠ざけます。
- リモートコントロールまたはプロジェクタパネル上の [**メニュー**] ボタンを押して、**ディスプレイ | フォーマット**を開き、異なる設定を試してみます。

画像のサイドが斜めに歪む

- 可能であればプロジェクタがスクリーンの中央かつスクリーン底部の下になるようプロジェクタを配置しなおします。
- サイドが垂直になるまでリモートコントロール上の [**キーストーン +/-**] ボタンを押します。

画像が反転している

- **セットアップ | 投射方式**を OSD から選択し、投射方向を調整します。

中断の問題

プロジェクタがコントロールに一切反応しない

- 可能であればプロジェクタの電源を切り、電源コードを抜いて少なくとも 60 秒間待ってから再度電源を接続します。

ランプが焼きつく、または弾けるような音がする

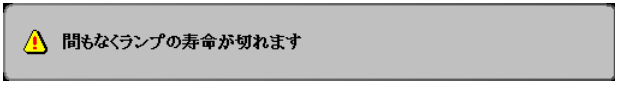
- ランプが寿命に達すると、ランプは焼きつき、弾けるような大きな音を発する場合があります。これが起こった場合、プロジェクタはランプモジュールを交換するまでオンにすることができません。ランプの交換は、54 ページのランプ交換手順に従ってください。

プロジェクタ状態表示

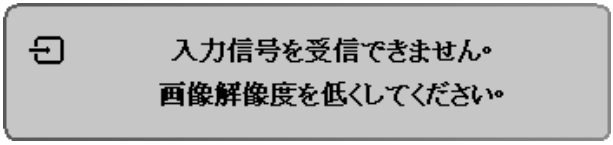
エラーコードメッセージ	電源LED/ 点滅	温度LED 点滅	ランプLED/ 点滅
暖機運転または冷却	点滅(0.5秒)	0	0
クイックレジューム(100秒)	点滅(0.25秒)	0	0
温度を上回るT1温度	0	オン	0
Thermal break	4	0	0
ランプエラー	0	0	オン
ランプドア開	7	0	0
DMDエラー	8	0	0
カラーホイール	9	0	0

メッセージ警告

- ランプの交換：



- 範囲外：（詳しくは以下を参照してください）



リモートコントロールの問題

リモートコントロールが動作しない場合

- リモートコントロールの操作角度が約 ±15° であることを確認します。
- リモートコントロールとプロジェクタ間に障害物がないことを確認します。プロジェクタの 7m（23 ft）以内で移動します。
- 電池が正しく入れられているか確認します。
- リモートコントロールの電池が弱い場合は交換します。

音声の問題

音がしない

- リモートコントロールのボリュームを調整します。
- 音声ソースのボリュームを調整します。
- オーディオケーブルの接続を確認します。
- ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
- プロジェクタの修理を依頼します。

サウンドがひずむ

- オーディオケーブルの接続を確認します。
- ソース音声の出力を別のスピーカーでテストします。
- プロジェクタの修理を依頼します。

ランプの交換

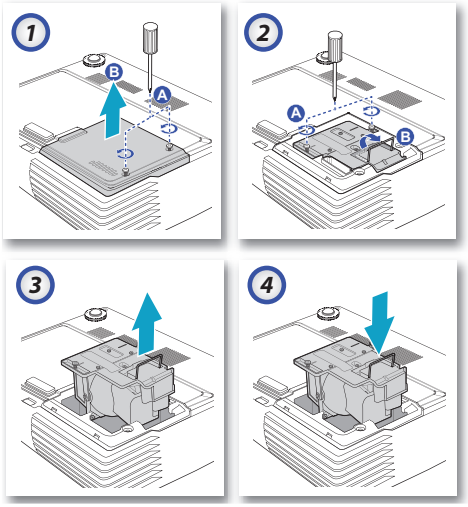
投写用ランプが切れたら交換する必要があります。認定された交換部品で交換を行なってください。部品はお買い上げ店で注文することができます。

重要:

- ランプは一定量の水銀を含み、地域の条例に従って処理する必要があります。
- 新しいランプのガラス表面に触れないようにしてください。触れると使用寿命が短くなることがあります。

警告:

- ランプ交換の少なくとも1時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。



1. ランプ取付部カバー上の2本のネジを緩めます**(A)**。ランプ取付部カバーを開けます**(B)**。
2. ランプモジュールから2本のネジを取り外します**(A)**。モジュールのハンドルを上に持ち上げます**(B)**。
3. モジュールのハンドルをしっかりと引いてランプモジュールを取り外します。
4. 5 & 6. 取り付けは取り外しと逆の動作を行います。

ランプを交換した後、ランプ使用時間をリセットする必要があります。詳しくは 48 ページを参照してください。

プロジェクタのお手入れ

プロジェクタをきれいにし、ほこりやすすを取り除くことはトラブルのない動作につながります。

警告：

- お手入れの少なくとも1時間前にプロジェクタの電源を切り、電源を抜いてください。これを怠ると重大なやけどを引き起こすことがあります。
- お手入れには湿らせた布のみを使用してください。プロジェクタ上の通気口に水が入らないようにしてください。
- お手入れの際に少量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、使用する前に数時間通気のよい場所に電源を挿入せず放置してください。
- お手入れの際に大量の水がプロジェクタ内部に入ってしまった場合、プロジェクタのメンテナンスを依頼してください。

レンズのお手入れ

ほとんどのカメラ店で光学レンズクリーナーを購入することができます。次の手順に従い、プロジェクタレンズのお手入れを行なってください。

1. 少量の光学レンズクリーナーをきれいで柔らかい布につけます。（レンズに直接クリーナーをつけないでください。）
2. 円を描くようにレンズを軽く拭きます。

注意：

- 研磨クリーナーやシンナーを使用しないでください。
- プロジェクタケースの変色や色落ちを防ぐため、クリーナーがケースに付着しないようにしてください。

ケースのお手入れ

次の手順に従い、プロジェクタケースのお手入れを行なってください。

1. きれいな湿らせた布でほこりを拭取ります。
2. お湯と薄い洗剤（食器洗い用洗剤など）で布を湿らせ、ケースを拭きます。
3. 布の洗剤を洗い落とし、再度プロジェクタを拭きます。

注意：

ケースの変色や色落ちを防ぐため、研磨剤やアルコールベースのクリーナーを使用しないでください。

互換モード

コンピュータの互換性(アナログRGB互換)

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Macに対する注
NTSC	-	60	
PAL/SECAM	-	50	
VGA	640 x 480	60 / 67 / 72 / 85	Mac 60 / 72 / 85
SVGA	800 x 600	56 / 60** / 72 / 85 / 120**	Mac 60 / 72 / 85
XGA	1024 x 768	60** / 70 / 75 / 85 / 120**	Mac 60 / 70 / 75 / 85
HDTV (720P)	1280 x 720	50 / 60** / 120**	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60 / 75 / 85	Mac 60 / 75 / 85
	1280 x 800	60	Mac 60
	1366 x 768	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60 / 75 / 85	Mac 60 / 75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24 / 50 / 60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200*	60	Mac 60

* 1920 x 1200 @60hzのみがRB (reduced blanking)をサポートします。

** True 3Dプロジェクタ用の3Dタイミング。

HDMI/DVI-D用の入力信号

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Macに対する注
VGA	640 x 480	60	Mac 60 / 72 / 85
SVGA	800 x 600	60** / 72 / 85 / 120**	Mac 60 / 72 / 85
XGA	1024 x 768	60** / 70 / 75 / 85 / 120**	Mac 60 / 70 / 75 / 85
SDTV (480I)	640 x 480	60	
SDTV (480P)	640 x 480	60	
SDTV (576I)	768 x 576	50	
SDTV (576P)	768 x 576	50	
WSVGA (1024 x 600)	1024 x 600	60	
HDTV (720p)	1280 x 720	50** / 60 / 120**	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60 / 75 / 85	Mac 75
	1280 x 800	60	Mac 60
	1366 x 768	60	Mac 60
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60 / 75 / 85	Mac 60 / 75
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV (1080I)	1920 x 1080	50 / 60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24/30/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200*	60	Mac 60

* 1920 x 1200 @60hzのみがRB (reduced blanking)をサポートします。

** True 3Dプロジェクタ用の3Dタイミング。

True 3Dビデオ互換性テーブル(HDMI 3D入力)

入力タイミング		
1280 x 720P @ 50Hz	Top - and - Bottom (最上部から底部まで)	
1280 x 720P @ 60Hz	Top - and - Bottom (最上部から底部まで)	
1280 x 720P @ 50Hz	Frame packing (フレームパッキング)	
1280 x 720P @ 60Hz	Frame packing (フレームパッキング)	
1920 x 1080i @50 Hz	Side- by-Side (Half) (サイドバイサイド(ハーフ))	
1920 x 1080i @60 Hz	Side- by-Side (Half) (サイドバイサイド(ハーフ))	
1920 x 1080P @24 Hz	Top - and - Bottom (最上部から底部まで)	
1920 x 1080P @24 Hz	Frame packing (フレームパッキング)	
1920 x 1080i @ 50Hz	Side- by-Side (Half) (サイドバイサイド(ハーフ))	SBS mode is on (SBSモードがオン)
1920 x 1080i @ 60Hz		
1280 x 720P @50Hz		
1280 x 720P @60Hz		
1920 x 1080i @ 50Hz	Top - and - Bottom (最上部から底部まで)	TAB mode is on (TABモードがオン)
1920 x 1080i @ 60Hz		
1280 x 720P @50Hz		
1280 x 720P @60Hz		
480i	HQFS	3D format is Frame sequential (3D映像フォーマットはFrame sequentialです)

- 3D入力が1080p@24hzの場合、DMDは3Dモードでは整倍数でリプレーする必要があります。
- 31080i@50hzと720p@50hzは100hzで作動し、他の3Dタイミングは120hzで作動します。

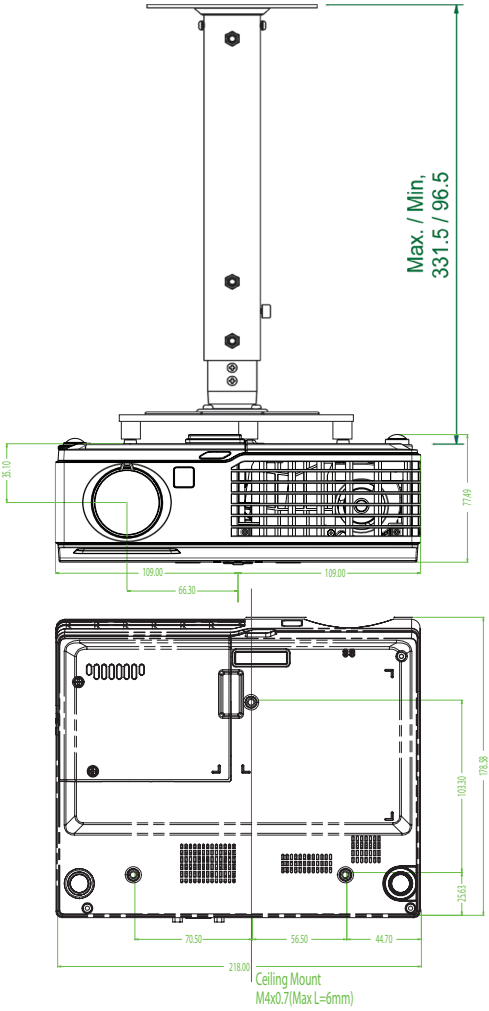
天井取付

プロジェクタへの破損を防ぐため、取り付けには推奨の取付パックをご利用ください。

準拠性を守るため、次の仕様を満たした UL 認定規格の天井取付装置とネジのみを使用してください：

M4× 3 天井取付、最大長さ 6 mm

プロジェクタの天井取付は次の図を参照してください。



- 誤った取り付けの結果による破損は保証の対象となりません。
- 天井とプロジェクタ底面の間に少なくとも 10 cm 間隔をあけてください。
- エアコンやヒーターなど熱源の近くにプロジェクタを配置しないでください。過熱はプロジェクタの電源を落とす場合があります。

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
電話 : 408-383-3700 Fax : 408-383-3702
www.optomausa.com メールアドレス : services@optoma.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, Canada
電話 : 905-361-2582 Fax : 905-361-2581
www.optoma.ca

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
電話 : +44 (0) 1923 691 800 Fax : +44 (0) 1923 691 888
www.optoma.eu
Service Tel : +44 (0)1923 691865 メールアドレス : service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E 81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
電話 : +33 1 41 46 12 20 Fax : +33 1 41 46 94 35
メールアドレス : savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of, 1C
28529 Rivas Vacia, Madrid, Spain
電話 : +34 91 499 06 06 Fax : +34 91 670 08 32

ドイツ

Werftstrasse 25 D40549
Düsseldorf, Germany
電話 : +49 (0) 211 506 6670 Fax : +49 (0) 211 506 66799
メールアドレス : info@optoma.de

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2
3015 Drammen, Norway
電話 : +47 32 26 89 90 Fax : +47 32 83 78 98
メールアドレス : info@optoma.no

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
電話 : 408-383-3700 Fax : 408-383-3702
www.optoma.com.br www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD
4F, Minu Bldg.3.tw3-14, Kangnam-Ku, seoul, 135-815, KOREA
電話 : +82+2+34430004 Fax : +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエスエム
サポートセンター:0120-46-5040
E-mail : info@osscreen.com www.os-worldwide.com

台湾

12F., No.215, Sec. 3, Beixin Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)
電話 : +886 2 8911 8600 Fax:+886 2 8911 6550
www.optoma.com.tw asia.optoma.com
メールアドレス : services@optoma.com.tw

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre, 79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan, Kowloon, Hong Kong
電話 : +852-2396-8968 Fax : +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd., Changning District
Shanghai, 200052, China
電話 : +86-21-62947376 Fax : +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制及び安全に関する情報

この付録にはお使いプロジェクタに関する一般情報を記載しています。

FCC 情報

この装置はテストの結果、FCC規制パート15によるクラスBデジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅環境に設置した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。

但し、一定の設置条件で妨害が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を起こす場合（この装置のオフとオンを切り換えることで判別可能）、ユーザは次のうち一つ以上の対策を行い、干渉を正す必要があります：

- 受信アンテナの方向または位置を変えます。
- 本装置と受信機の間の距離を離します。
- 受信機が接続されているコンセントとは別の回路上にあるコンセントに本装置を接続します。
- 販売店または経験のあるラジオまたはテレビ技術者に問い合わせます。

注意：シールドケーブル

他のコンピュータ装置への接続はシールドケーブルを使い、FCC 規制への準拠性を維持する必要があります。

注意：

製造元により明示的に許可されていない変更または修正を行うと、連邦通信委員会により認められた本プロジェクタを操作するためのユーザ権限が無効になります。

操作条件

この装置はFCC規制パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります：

1. 本装置が有害な電波干渉を引き起こさないこと、そして
2. 本装置が不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

注意：カナダのユーザ

本クラスBデジタル装置はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国向け準拠性の宣言

- EMC 指令2004/108/EC（修正含む）
- 低電圧指令 2006/95/EC
- R & TTE 指令 1999/5/EC（製品に無線機能がある場合）

廃棄についての説明



廃棄時は本電子機器をゴミ箱に捨てないでください。汚染を最少にし、地球環境を守るため、リサイクルしてください。